



LD親の会「けやき」機関紙

第93号

2011年3月発行

発行者・代表 三輪 覚子
けやきホームページ URL

〒198-0014 東京都青梅市大門 1-787-8
<http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/>

平成23年度 総会のご案内

下記のように平成23年度LD親の会「けやき」の総会を開催いたします。
東北関東大震災発生以来、まだまだ混乱と不安が続いておりますが、こんな時こそ
仲間の存在を感じてほしいと思っています。

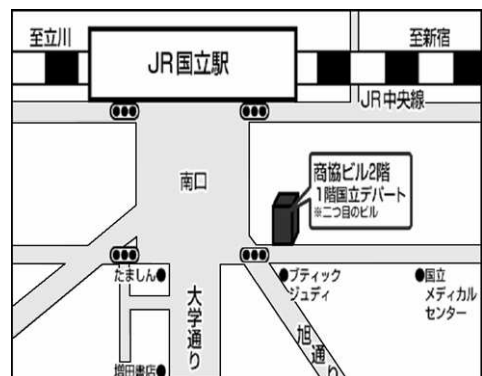
日時	平成23年4月16日(土)	13:00~16:30
場所	国立さくらホール (JR中央線国立駅 南口 国立商協ビル2F)	
内容	①新規入会のための説明会	10:00~12:00
	②会員更新・入会手続き	13:00~13:30
	③連絡・事務説明	13:30~13:45
	④総会議事	13:45~14:45
	⑤係り補助分担相談	14:45~15:15
	⑥交流会	15:15~16:30 (後片付け)

◆交通手段の確保および移動の安全については、各自で十分ご留意の上お集まりいただきますようお願いいたします。

議事終了後は、会員同士の親睦として「子育てを考える交流会」を計画しています。
お子さんのことや近況などを気軽に語り合える内容にしたいと思いますので、ご参加をお願いします。
名札をお持ちの方はご持参ください。

※会場は10:00より使用できます。
各部会・グループ等の打ち合わせにも
利用してください。

※継続受付は13:00より開始します。



会長挨拶

会員の皆様 一年間ご協力ありがとうございました

3月11日に発生した大震災とその後の事故での混乱が今も続いています、いかがお過ごしでしょうか。ご親戚やお知り合いに、被災された方はいませんでしたか。

東北・関東の親の会の仲間たちも、皆懸命に毎日を頑張っていらっしゃると思います。

関係されるすべての方々にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

もうすぐ暖かい春を迎えるという矢先の出来事に、言葉ありません。

数年来、東京でも巨大地震発生の可能性が言われ、築23年の我が家の耐震不足を心配しながらも、本音では身近なこととして考えていませんでした。

被災された方々のご不便・ご苦労とは比べようありませんが、計画停電や電車の運休で動けないもどかしさ、ガソリンやお米等買えないことが続き、予定通りにいかない不自由さに対して何と自分は弱いことか・・・あらためて思い知らされました。

当事者にならないとわからない・知らないことが、まだまだ沢山あるということも分かりました。しかし、私なりに学ぶこともありました。

この先も予想がつかず、不安は残るのですが、できる限りの工夫と努力、そして皆で力を合わせて生きていくという気持ちのスタートに立ったように感じます。

親の会の活動は小さなことかも知れませんが、仲間がいる心強さは大きいと思います。「けやき」もその一助になればと思っています。

今回の震災に関して、JDDネットのHPに災害情報掲示板が設置されましたのでお知らせします。(関東ブロックからの情報です)

<http://jddnet.jp/index.files/archives2011/news20110313.html>

三輪覚子

渉外関係報告

◎全国LD親の会関東ブロック会議関係

第1回会議

日時：7月11日(日) 13:00~17:00

場所：バロール代々木1F集会ルーム

○各会活動報告

○総会・理事会報告

○事業実施に関する審議

①LD等の発達障害に関する研究事業等について

- ・日本財団助成事業からのサポートツール・データベース事業、
- ・文部科学省からの特別支援教育研究事業について
- ・日本LD学会について
- ・会員調査について

②LD等の発達障害に関する理解啓発事業



- ③LD等の発達障害のある人及び家族等の支援事業について
- ④LD等の発達障害のある人に対する支援・制度の充実事業について

○内藤理事長からの挨拶

第2回会議

日 時：11月21日（日） 13:00～16:00

場 所：港区立障害者保健福祉センター

○全国LD親の会からの活動報告

○組織運営に関する事項

- ・会計状況、9月末概算の説明ほか

○事業実施に関する審議

①LD等の発達障害に関する研究事業について

- ・日本財団助成事業からのサポートツール・データベース事業、
- ・文部科学省からの特別支援教育研究事業について
- ・日本LD学会ポスター展示報告と来年度予定について
- ・会員調査について

②LD等の発達障害に関する理解啓発事業（かけはし発行・HP関係）

③LD等の発達障害のある人及び家族等の支援事業について

④LD等の発達障害のある人に対する支援・制度の充実事業について

○各会活動報告

○情報交換



◎東京LD親の会連絡会関係

- 4月29日（金）総会、運営会議、就労支援機関調査のまとめ等（下北沢らぶらす）
- 6月 6日（日）就労支援機関調査のまとめ、要望書の検討等（下北沢らぶらす）
- 7月25日（日）就労支援機関調査のまとめ、要望書の検討等（下北沢らぶらす）
- 8月15日（日）要望書最終検討、就労支援機関調査のまとめ（下北沢らぶらす）
- 9月 3日（金）石原都知事宛の要望書を提出（東京都庁）
- 10月 3日（日）講演会について、就労支援機関調査のまとめ等（下北沢らぶらす）
- 10月21日（木）就労支援機関調査のまとめ等（下北沢らぶらす）
- 10月25日（月）都より要望書への回答説明会（東京都庁）
けやきより新堀、小形が出席
- 10月30日（土）就労支援機関調査のまとめ等（下北沢らぶらす）
- 11月 9日（火）就労支援機関調査のまとめ等（下北沢らぶらす）
- 11月20日（土）就労支援機関調査のまとめ等（下北沢らぶらす）
- 12月 3日（金）就労支援機関調査のまとめ等（下北沢らぶらす）
- 12月19日（日）講演会について、就労支援機関調査のまとめ等（下北沢らぶらす）
- 1月29日（日）運営会議、講演会及び就労支援機関調査の冊子の配布について
（下北沢らぶらす）
- 2月11日（金）講演会及び就労支援機関調査の冊子の配布について
（下北沢らぶらす）

新堀(紘)

11月・例会報告

日	時	平成22年11月27日(土)
会	場	国分寺労政会館・第二会議室
テ	マ	「集団の中で育てにくい子どもの支援について」 ～保育に携わっている方々と保護者が理解しあう為に～
講	師	芦澤 清音 先生(帝京大学教育学部准教授)

当日は、保護者だけでなく保育や幼児教育に携わっている方々からも参加していただきました。

保育園や幼稚園などで、みんなと一緒に行動が取れない・順番が待てない・こだわりがありパニックになる・不器用で動きがぎこちない・音に敏感あるいは音に鈍感で名前を読んでも反応しない・情緒が不安定など・・・子どもに気になる症状があると集団の中でトラブルになることがあります。

保育者も保護者もトラブルを解消しようと日々、奮闘していますが、長年、保育園や小学校で発達相談活動をされている芦澤先生は、保育者と保護者の間に意識のズレがあると指摘されました。そのズレを知ることがお互いを理解しあえる鍵ではないかと仰っていました。そうして、子どもも大人も笑顔になれたらいいですね。

参加者の感想



◆事例が幼児のものでしたが、中学生の息子にも応用できる考え方で、とてもためになりました。一方的に当事者をせめたてるのではなく、立ち止まってどうしてそのような行動に出してしまうのか、原因さがしの大切さ、関わるまわりの教師の声かけ一つで、改善が見られる教室環境等、理解できました。もう一度、子どもへの声かけ方法を検討したいと思います。

◆息子は3才でまだ幼いですが、今回のけやきの会に参加させていただき、LDの疑いがあるなど実感いたしました。皆さんのお話を聞いて、悩んでいるのはわたしだけではないということが分かりました。

◆子どもの育ちを支える、という点では保護者も保育者も立場は同じなので、忘れないでいたいと思います。

◆貴重な学習会の機会をありがとうございました。

同様のテーマでの研修会等に参加したこともありますが、保護者の方たちの個別でない場での声をこれからの仕事に生かしたいです。芦澤先生のお話の内容もよかったです。お人柄も素敵でよい学習会でした。(福祉関係)

◆一人一人の特性をつかむ迄には、時間がかかると実感しました。発達障害を認めたくないという親の思いもあります。障害という言葉でくくってしまうには、少し気の毒と思われる子どもに接しながら、親の気持ちが理解できるだけに、課題の多さを感じています。(保育園)

1月・例会報告

1月22日（土）、国立のさくらホールで1月例会が開催されました。

今回は、就労部会との共催で東京経営者協会の方を迎え「職場定着のための親の悩み・企業の悩み・企業が求める支援とは」というテーマで勉強会を行いました。わが子が仕事につき、ホッとしたのも束の間、様々な悩みが持ち上がります。そんな時親は、わが子が抱える問題をどのように捉えていけばいいのか、企業側から家庭での支援のあり方に望む事とは、等について座談会形式で話し合いを持ちました。

東京経営者協会は、企業として受け入れる側の経験をお持ちであり、現在、企業側から支援をしてくださっている立場でもあります。さらに、厚生労働省の「A T A R I M A E（アタリマエ）プロジェクト」の担当をされ、現在も厚生労働省の委託事業で障害者雇用アドバイザーをされています。まさに障害者雇用に関する企業へのアドバイスのベテランの方々であり、このような方々にお話を伺う機会をいただけたことは本当にありがたく思いました。

参加者の感想



- ◆手帳がないと“支援難民”となりそうです。そのあたりの層が光を当てられることを希望する気持ちになりました。出席率、挨拶などマナーのスキル・・・そういう必須事項はクリアしているので、「採用されると頑張れるんだよ」自身を持たせて育てたいです。
- ◆あと2年もすると、わが子も社会に出て行きます。その時まで何をしておくべきか、家庭教育のあり方や考え方が大切であると感じました。分かっているけれど、なかなかうまくいかない親子かんけいに、日々頭が痛くて悩みも深くなっていたところでした。あきらめないで、日々の生活を積み上げ、社会に出て困ることのないように伝えていけたらと思います。
- ◆息子はまだ中三で、診断も受けていませんが、将来を考えて参加しました。受験を控え、いろいろ多難な状況ですが、とても参考になりました。
- ◆企業側の立場でありながら、障害を持つ子たちへの暖かい理解のあるアドバイスなど、とてもありがたく思いました。また、家庭でのしつけ、習慣づけの大切さをあらためて感じました。
- ◆息子は今年の3月で勤続10年になります。山あり谷ありでしたが、ようやく親として慣れてきました。今は本人の健康の維持と仕事へのモチベーションの維持を、そばから支えています。転職も考えましたが、障害者の転職はどうしてもキャリアダウンになります。障害者の転職が、抵抗少なくキャリアアップにつながるようになればと思います。
- ◆相談会に来たのですが、これから先必ず関わってくる問題ですので、お話等、本日聞くことができ良かったです。日常思っている不安や疑問など、聞くことのできる設定になっており、同じように不安な思いで生活されている方々のお話を聞けたので、気持ちが少し楽になりました。

就労部会

平成22年度活動報告

- ◇6月8日(火) 東京学芸大学
「くらしとお金」のテキストについて検討
：子どもの現状について意見交換
- ◇7月13日(火) 多摩障害者スポーツセンター
お金に関することのまとめ
「くらしとお金」のテキストの内容検討
：東京学芸大学テキストの各項目について検討依頼を受けましたので、
結果を報告しました
- ◇10月12日(火) 藍屋(国立)
食事会・打ち合わせ：近況等話し合い
- ◇12月1日(水)
企業見学会：大東コーポレートサービス(株)
- ◇12月22日(土) 国立さくらホール(例会と共催)
勉強会：テーマ「職場定着のための親の悩み・企業の悩み」
講師：(社)東京経営者協会 障害者雇用アドバイザー 畠山千蔭氏・中居紀二氏
- ◇2月15日(火) 藍屋(国立)
食事会：今後の活動内容について検討



2010年度の就労部会は、会員のお互いの希望を出し合い、企業見学・働き始めてからの悩み・自立に関する勉強会など、我が子と接する中での悩みやお互いの情報交換を中心に活動しました。

大東コーポレートサービス(株)の新事業所訪問は一般公開前に見学をさせていただき、企業としての考え方や大規模な印刷業務現場の見学、企業の食堂で食事をする体験もさせていただきました。

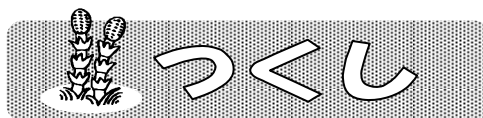
また、12月22日は定例会との協賛により(社)東京経営者協会 障害者雇用アドバイザーの方をお迎えし、働く子どもを持つ親としての悩みなどの話し合いをしました。

就労前後の親の情報収集は、その後の当事者の人生において重要な意味を持っていると考えられます。就労部会では、就労がゴールではなく、「自立」「親亡きあと」などの大きな課題も抱えています。

学齢期後の発達障害者への支援(就労・自立)は、まだまだ十分といえない状態にありますが、今ある支援の情報をしっかりと受け止めながら、親として何が出来るのか・・・経験を通して話し合い、知恵を出し合って、我が子にどう役立っていくのか、今後も皆で考えていく必要があると思います。 新堀(和)

平成22年度活動報告

教育部会



今年度は、現在小学3年生から中学3年までの子どもを持つ親たちの交流会として、2か月に一度の集まりを持ちました。中でも、アドバイザーとして教育心理士をお招きし、わが子の特性を知るために、心理検査を基にお話をいただきました。そして、親たちは、検査結果としての数字(IQ)のみに反応しがちだが、心理検査は子どもの状態を知る手掛かりであることを再認識しました。今年度の交流会が、学校や家庭でのこどもの様子について話合うなかで、共感できる場があったと思いました。

活動日程・内容

- ① 6/12(土) 今年度の交流内容について話合う
- ② 7/24(土) 心理検査を基に我が子の特性について知る パート1
アドバイザー / 新谷博美氏 (教育相談員)
- ③ 9/17(金) 交流会：学校の中での子どもたちの状態と支援の現状について話合う
- ④ 11/27(土) 心理検査を基に我が子の特性について知る パート2
アドバイザー / 新谷博美氏 (教育相談員)
- ⑤ 1/22(土) 交流会：学校の中での子どもたちの状態と支援の現状について話合う
- ⑥ 3/26(土) 勉強会：子どもの行動について考える「ペアレントトレーニングってなあに？」(5月に延期)

次年度計画(案)

年6回程度の交流会を実施。

初回は5月28日(土) 10:00~12:00・国分寺労政会館

内容：参加者と話合いながら、必要に応じ講師を呼び勉強会を検討していく

小形・瀧澤.



■自主グループ報告■

おやじの会

平成22年度活動報告



今年度もおやじの会は例会等の懇親会の設営が主な活動でした。5、11、1月の例会後に講師の方も一緒に入って頂き、限られた時間ではありましたが例会時とは別の角度から有意義な意見交換等を行うことができました。今後の会の取り組み等に反映できればと考えております。一方では参加いただいているお父さんの数が少ないのが悩みで、お母さんの参加を含め参加者の拡大が相変わらずの課題です。

藤本

■自主グループ報告■

ポーレポーレ

平成22年度活動報告

登録メンバーは11名で、今年度も月1回おもに第2日曜日・多摩障害者スポーツセンターを拠点に余暇活動をしました。

- 4月 映画鑑賞（立川）
- 5月 8月活動の話し合い・カードゲーム
- 6月 次回活動の打ち合わせ・8月小旅行の詰めの話し合い
- 7月 野球観戦（西武球場）
- 8月 甲府への小旅行
- 9月 国立散歩・カードゲーム
- 10月 ジョイポリス（お台場）
- 11月 おでんパーティー（調理実習を含む）
- 12月 ボーリング・カラオケ大会（立川）
- 1月 百人一首大会
- 2月 谷保天満宮まで梅を見に散歩
- 3月 来年度上半期活動計画・食事会



例年と同様に熱心なボランティアさん方々のご支援を頂きながら楽しく活動ができました。今年はメンバーの多くの方が社会人となり、日程等の調整が難しく宿泊はなくなりましたが、朝より夕方までまる1日をかけ遠くへ出かける活動が増えました。また、家と学校・職場以外の居場所として参加者たちで話し合うことを大切にしました。

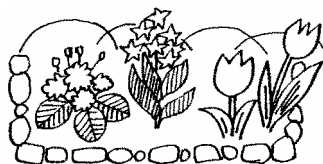
これからもメンバーの成長とともに柔軟に活動を合わせ、ポーレポーレは「居心地の良い居場所」になって欲しいと思います。

畑

キャリア教育講座 Wing

平成22年度活動報告

- ◇4月11日(日) 東京都多摩障害者スポーツセンター
オリエンテーション：神奈川県立保健福祉大学・松為信雄教授
- ◇5月2日(日) 東京都多摩障害者スポーツセンター
実習にむけたスキル取得「メモを書く」：就労支援センター・ポーバル聡美氏
- ◇6月13日(日) 東京都多摩障害者スポーツセンター
実習にむけたスキル取得「聞き方・伝え方を学ぶ」
：就労支援担当・市村たづ子氏
- ◇7月4日(日) 国分寺労政会館
実習にむけたスキル取得「職場の報連相」
：特例子会社「キューピーあい」・藤岡美和子氏
- ◇8月20日(金)～21日(土) エプソンミズベ(株)・セラビィリゾート泉郷
企業見学と合宿：神奈川県立保健福祉大学・松為信雄教授
：就労支援センター・ポーバル聡美氏
：就労支援担当・市村たづ子氏
- ◇9月12日(日) 東京都多摩社会教育会館
自己理解と目標設定：国立リハビリテーションセンター・寺田容子氏
- ◇10月13日(日) 東京都多摩社会教育会館
先輩の話を聴く
：神奈川県立保健福祉大学・松為信雄教授 就労している先輩2人
- ◇11月7日(日) 国分寺労政会館
働くことをイメージする(働くこと)：就労支援センター・ポーバル聡美氏
- ◇12月12日(日) 国分寺労政会館
働くことをイメージする(自分にあった働き方・自分のこと)
：神奈川県立保健福祉大学・松為信雄教授 就労支援担当・市村たづ子氏
- ◇1月16日(日) 東京都多摩障害者スポーツセンター
自己アピールシートの作成(今までの記録を整理し、まとめる)
：就労支援センター・ポーバル聡美氏
- ◇2月20日(日) 国分寺労政会館
一年間をふりかえる ～これまでの感想をまとめてみよう～
：神奈川県立保健福祉大学・松為信雄教授 国立リハ・寺田容子氏
- ◇3月6日(日) 京王プラザホテル多摩
修了式・ティーパーティー
：神奈川県立保健福祉大学・松為信雄教授
<出席者>：来賓 (株)いなげや・石川 誠 様 日本財団・沢渡一登 様
：アドバイザー・各講座講師・受講生・ボランティア・親・先輩



■自主グループ・Wing報告■

<打ち合わせ関係> 親の打ち合わせ（7回） プログラム委員会（7回）

<親講座> 8月1日（日）「企業で働くということ」

: Wing ボランティア・石田順子氏



<学会発表>

○日本職業リハビリテーション学会 ポスター発表

2010年8月26日（木）27日（金）神奈川県立保健福祉大学

○日本LD学会第19回大会 自主シンポジウム

2010年10月9日（土）～11日（月・祝）愛知県立大学

<報告書作成> 4月発行予定



2010年度のキャリア教育講座Wingは、日本財団の助成を受けている3年間のプログラム作成と実証の最終年度となりました。

助成金の対象の一つとして、本講座の普及という目的がありますので、学会発表や報告書作成、LD学会誌に紹介が載るなど沢山の対応に追われました。

本人対象の講座は、親の声をふまえ、自己理解を目標に掲げ、スキルの習得、働く事のイメージを通して、自分を知るという事を合わせて考え、実施してきました。

専門家のボランティアさんによって実施される事により、座学では理解できにくい受講者に対して、内容を作業に変えていくなど、より高度な講座内容が実施出来たのではないかと思います。

また、初めての試みとして親を対象にした親講座を実施しましたが、受け入れる会社側の事情を講義して頂き、社会に出す側として大切な事を知る機会になりました。

受講生については、8人の修了者のうち、5人が3年間連続受講し、本年度も皆勤賞受賞者が出るなど、親子の熱心さがうかがえました。

「就労・自立を学齢期に学ぶ」という考え方は、あたり前の事でありながら、現実にはまだ普及の途上であると感ずます。しかし、受け入れる会社側や支援側からは「就労に関する教育は是非しておいてほしい」という言葉を多く聞く時代になりました。

働くということが分からない人や自己理解が出来ていない人への支援や雇用はとても難しいという現実を考える時、これ以上発達障害者のニート、フリーターを増やさない為にもWingの教育は間違いなく必要なのだと感じています。

今年度お世話になりました、松為先生はじめ研究者、講師、ボランティアの方々のご協力に深く感謝申し上げます。

新堀(和)



散歩道



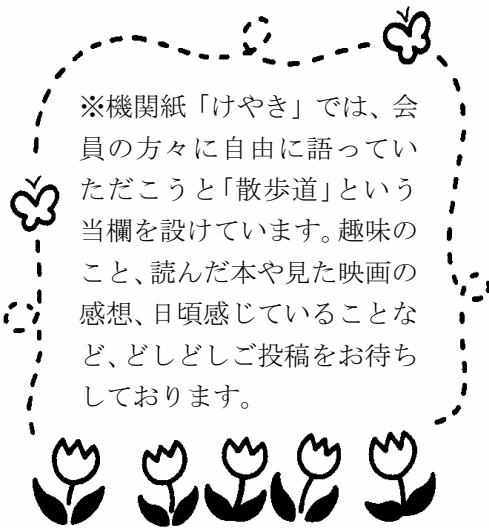
大変な災害が起こり、度重なる余震や原発のニュースに緊張していましたが、人間、長く緊張しつづけないようにできているのか、自分に集中力がないからかわかりませんが、この頃は少しずつ緊張が緩んできたように感じます。なんとも微力な私ですが被災された方に何かできればと思います。

このように緊張したり、ストレスを感じたりしたときに私は深呼吸をします。特に息を吐くときゆっくりと時間をかけ、「気持ちが落ち着いている」と幾度か唱えながら体の力を抜きます。その時、思い浮かべるのが15年前家族旅行で行った、高台にあるホテルの部屋から見た海の見える風景です。その頃は子育て真っ最中で、旅行だとはしゃぎまくる、ハイな子どもたちを連れて電車で移動し、きらきら光る海に来ると、たくさんの家事や雑務から離れられたからか心の底からホーッとするのでした。それから、もう一つくつろげる風景があります。5月の連休、夫は大好きなお花の植え替え作業で一人うれしそうに過ごしているので、私は子どもたちを自転車に乗せて湧水のある緑地帯へ出かけました。池の周りには大きな柳の木が何本もあり、風が吹くとサワサワと音をたてて葉が揺れるのです。心の中が緑色の箒で掃かれているような気持ちがして、いつまでも風に吹かれていたいのでした。でも、ここではくつろげません。子どもたちは池で濡れたとか、ザリガニ釣りのえさの煮干しがはずれたとか言ってきますので。

昔のこんな景色を思い浮かべながら、深呼吸していると体の力が抜けてリラックスします。寝る前に行うとそのまま寝てしまいますが、日中、行ったときは解除動作が必要です。手をグーパーグーパー、腕の曲げ伸ばし、深呼吸をすると気持ちがシャッキリします。よろしかったら、あなたのくつろげるイメージで試してみてください。なお、「気持ちが落ち着いている」に引き続き「右手が重い」を唱えるなどを加えていくと自律訓練法になりますが、やり方をインターネットなどで調べてからされるといいと思います。

Y. S

※機関紙「けやき」では、会員の方々に自由に語っていただくとう「散歩道」という当欄を設けています。趣味のこと、読んだ本や見た映画の感想、日頃感じていることなど、どしどしご投稿をお待ちしております。



お知らせコーナー

「けやき」では年間を通して新規入会を受付けています

*入会金 2000円

*年会費 5500円

総会、例会、役員会の会場に直接お出かけください。



詳しくは、けやきホームページ <http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/>にてご案内していますのでご覧ください。

*賛助会員、通信会員、ボランティア会員も募集しています。

5月の活動予定日

下記のように5月の活動を予定しています。

日時 5月28日(土)

10:00～12:00 役員会

13:00～17:00 例会(会員交流会)



*会場は決まり次第お知らせします。

*会員継続手続きも行います。

編集後記

太平洋沖で起きた地震で東北及び関東が未曾有の災害を被り、広範な地域に甚大な被害をもたらしました。とりわけ津波の被害は途方もなく大きなもので、東北の太平洋側沿岸部を中心に深い傷跡を残しました。一瞬のうちに多くのものを失った被災者の方々の心情は、言葉では言い尽くせないものがあると思います。

被災地から伝えられる映像や写真を見て、自然の力のすさまじさに驚き、底知れぬ恐れも抱きました。この大震災で、依然として多数の方々が行方不明となっていますが、一刻も早い捜索・救出が求められます。また、日本政府には、被災された方々への救援と支援に、今後も全力を尽くしていただくことを切にお願いしたいと思います。

(3月23日・記)

K.M